

【ア行】

○アイストップ [eye stop]

空間を見通すときに視線が集中する位置につくられるもの。例えば、道路の突き当たりや曲がり角に見られる建物やオブジェ、シンボルツリーなどのこと。

○アソートカラー [assort color]

建築物などのベースカラー（基調色）を補完する色彩。例えば、高層の建築物の低層部分に変化をつけるために用いたりするもの。

○意匠 [いしょう]

デザイン。形・色・模様などを様々に工夫すること。

【カ行】

○開口部 [かいこうぶ]

建築物で、窓・出入り口・換気口など外部へ向かって開いている部分のこと。

○柏市第四次総合計画 [かしわしだいよじそうごうけいかく]

柏市のまちづくりの目標である将来都市像を掲げ、それを実現するための施策を明らかにするための総合計画で、体系的、計画的に事業を進めていくための指針となるもの。柏市第四次総合計画は、基本構想の計画期間（平成13～27年度）を、前期（平成13～17年度）、中期（平成18～22年度）、後期（平成23～27年度）の三期に分けまちづくりを進めている。

○雁行 [がんこう]

建築物の形状で雁が隊列を組んで飛ぶ形のように壁面を少しずつ前後にずらして配置しているもの。

○緩衝空間 [かんしょうくうかん]

隣接する異なる性質の空間の間にある、その差・変化をやわらげる空間。例えば建物と建物の上に設けられた緑地や広場など。

○建築協定 [けんちくきょうてい]

地域の環境を維持・増進するため、一定の区域内の権利者全員の合意により、区域内での建築物等に関する基準等を定める協定。

○コニファー [conifer]

針葉樹の低木や植木鉢の総称。

○コモンスペース [common space]

集合住宅、タウンハウスなどで居住者が共同で使うことができる広場や空間。

【サ行】

○敷き際 [しきぎわ]

「敷地の際（きわ）」の略。境界部分。

○スカイライン [sky line]

地形や建物等の連続によりつくられる輪郭線のこと。

○セットバック [setback]

建築物の外壁を敷地境界線から後退させて建てること、あるいは、建築物の上部を段状に後退させること、を指す。歩行者空間が広がることや、建物の大きさによる圧迫感をやわらげるという利点がある。

【タ行】

○タウンハウス [town house]

各戸接地型の低層の集合住宅。共有のオープンスペースや共用広場（コモンスペース）を設けることで敷地を有効利用し、コミュニティの醸成を期待したもの。

○地区計画 [ちくけいかく]

一体的に整備・保全を図るべき地区に対して、都市施設の整備、建物の建築等に関する事項を総合的に定め、地区の特性にふさわしい良好な環境を整備・保全する制度。

○妻入り [つまいり]

建物の妻側に入り口を設けて正面とする建築様式のこと。

○妻側 [つまがわ]

切妻や入母屋（いりもや）造りの屋根の側面の三角形の壁面がわ。

○ディスプレイ [display]

店舗等の通りに面した商品陳列の部分。

○ディテール [detail]

「全体」に対して小さな要素、細かい要素のこと。

○都市計画マスタープラン [としけいかく ますたーぷらん]

柏市の都市計画に関する基本的な方針となるもの。柏市のまちづくりについて、上位計画である総合計画等に即しながら市の関連計画等と整合し目指すべき将来都市像を描くもの。

○電線共同溝 [でんせんきょうどうこう]

地上から電柱・電線を撤去するため、電気や通信等の複数の事業者のケーブルを通す管を共同で歩道等の地下空間に埋設して整備するもの。

【ナ行】

○にせ壁 [にせかべ]

建築壁面としての機能は無いが修景のために建築壁面に取り付けられた壁状の工作物のこと。

○農振農用地 [のうしんのうようち]

農業振興地域整備計画で、農業上の利用を確保し農業振興を図っていくため、利用すべき土地の区域を指定した「農用地等」。

○野馬土手 [のまどて]

江戸時代に東葛飾地域（小金牧）を中心に作られた幕府の放牧場から野馬が村などへ入っていかないように築いた土手。

【ハ行】

○ファサード [facade]

建物の正面や建物の外観を構成する主要な立面のこと。外観として重要な面である場合には側面や背面についてもファサードと呼ぶこともある。

○フリンジ [fringe]

周辺あるいは外縁部分のこと。

○分節化 [ぶんせつか]

建築物など単一の形状とせず、いくつか区切りを入れるなどでのデザインの変化づけ。

【マ行】

○マウンドアップ [mound-up]

土を盛り上げて地面を高くすること。

○マンセル値 [まんせるち：Munsell value]

色彩を正確に表すための尺度。それぞれの色彩を「色相」「明度」「彩度」の3つの属性を組み合わせた数値で表す。

○モール [mall]

もともとは並木のある散歩道の意味だが、現在では通行だけでなく、集い、くつろぎ、遊ぶことができるように広場やベンチ、噴水、モニュメントなどを設けた通りのことを指す。また、日本では修景整備された商店街が特に「ショッピングモール」と呼ばれることが多い。

【ヤラワ行】

○谷津 [やつ]

丘陵地の中などで一段低くなった谷あいの地形の土地。地域により「谷戸」「谷地」とも表される。

○ランドスケープ [landscape]

「景観」・「造園」の意味。人工環境と自然環境の調和を目指した外部空間の総合的な構成を指す言葉。

○ランドマーク [landmark]

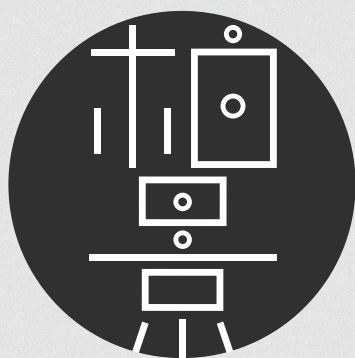
ある地域が目印となる象徴的な景観要素。由緒のある建物、塔、坂、山などがランドマークになることが多い。

○緑地協定 [りよくちきょうてい]

市街地の良好な環境を確保するため、一定の区域内の権利者全員の合意による区域内における緑地の保全または緑化に関する協定。

○ルーバー [louver]

天井または壁の開口部に備えたよろい戸。羽板の向きを調節して雨や日光をさえぎる。



柏市景観計画 資料編 Landscape Plan of KASHIWA City



平成 25 年 3 月

発行 柏市都市計画課

〒 277-8505 千葉県柏市柏五丁目 10 番 1 号
TEL : 04-7167-1144 FAX : 04-7167-7668
URL : <http://www.city.kashiwa.lg.jp/>